

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
玉城 安雄	公立図書館の建設について	24年3月議会の同僚議員の図書館建設についての質問に対して、町長は久米島町後期基本計画において、整備方針は盛り込まれているが財政的側面から現状では具体的な整備計画はないが、町の人材育成を図る観点からも図書館は必要だと認識し、整備に向け協議をしていくと答弁している。また教育長の答弁でも生涯学習において必要性を訴えているが当局の見解を伺う。 (1)具体的計画について協議しているか。 (2)図書館の必要性についての認識は。 (3)図書館建設が久米島高校の魅力化に果たす役割はどう考えるか。	町長 教育長	(1)公立図書館建設について、整備方針はありますが、まだ具体的な話し合いはされていません。 (2)子ども達の語彙力・読解力の弱さが学力低下の要因となっていますので、幼児期からの本の読み聞かせ、町民が本に親しむ環境づくりを構築する事で人材育成が図られるものと思います。 (3)本に親しむ事で思考力が育まれ、小・中学生の学力が向上し、ひいては高校生の学力向上、又、高校の近隣に建設する事で学習環境の活性化が図られると考えます。
玉城 安雄	窓口サービスの向上について	役場に住民の方がおいでになるのは年に数回であり、役場の機構を理解しているとは限らないので、その用件ならどこへ行くべきかわからないのが実態だと思う。結果として役場に行ったらタライ回しにされたということで不信、不満を持って帰宅したという話をよく聞く。住民サービスの向上を図るために窓口サービス検討委員会を設置し、基本マナーマニュアルを作成する考えはないか。また、住民から役場に寄せられる苦情、要望について文書化し住民の意見を行政に反映させる考えはないか、2点伺う。	町長	「役場は、町内最大のサービス機関」と言われておりますが、職員の「待遇」に対する厳しい批判や指摘があることは確かです。住民からの苦情、要望等があった場合は、庁議で検討し職員全体の共通認識の元、各課で対応していますが、まだ、改善に至っておりません。さらに職員の向上を図るために取り組んで参りたいと思います。
翁長 学	畜産産業に対する町の協力を	6月の一般質問で、畜産振興という事で質問しましたが、再度質問します。 (1)トップセールスについて (2)導入牛に対するの助成 (3)バカスの利用について	町長	(1)トップセールスについては、実施する方向でJA久米島支店に調整を依頼しています。 (2)導入牛については平成26年度予算で一括交付金を活用して実施できないか検討しているところです。 (3)バカスについては総量が減っているため、ほとんどを堆肥センターにまわしていますが、農家から分けて欲しいとの要望もありますので久米島製糖とも調整したいと考えています。
翁長 学	農業用ダムの計画を	今年の長期的な干ばつにより、農家が農業用水の確保に大変苦労していました。特に比屋定地区は灌漑設備が無い。比屋定地区に農業用水用のダムを計画しては。	町長	ため池の整備については、畑地へのかんがい排水施設整備と一体で計画する必要があります。比屋定地区の要望等を踏まえ、県と調整したいと考えております。
仲村 昌慧	離島の石油製品価格について	「離島の石油製品価格が沖縄本島より高くなっている現状を受け、県は11月から離島石油製品輸送費補助事業を拡充し、価格の格差低減を図る。補助拡充後も離島と本島との価格差は残る。」と琉球新報は報じている。沖縄21世紀ビジョン基本計画の中で「離島における石油製品については、揮発油税等の軽減措置を活用し、石油製品の販売事業者が負担する輸送費等に対し補助を行うことにより、沖縄本島並みの価格の安定と円滑な供給を図ります。」と明記している。沖縄本島並みの価格の安定を実現させるよう、県に対して強く働きかけるべきでないか。離島の石油製品価格について町長の見解を伺う。	町長	石油製品の島並価格を実現するため沖縄県は「石油製品輸送等補助事業」を毎年実施しており、久米島は1Lあたり6.01円の補助額となっています。県としては市場競争の激しい沖縄本島との価格差は正は厳しいものがあるとしております。町として少しでも価格差をなくするため企業への指導などを含めて他離島と連携して県に働きかけていきます。
仲村 昌慧	県道の安全管理について	字上江洲から字仲地までの区間で、部分的にガードレールが腐蝕して大変危険である。通学路でもあり、早急な改修が必要でないか。町当局の考えを伺う。	町長	現場を確認しましたが、一部腐食が激しいところがあります。県へ改修を要請しました。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
饒平名 智弘	離島甲子園の参加継続について	久米島町の中学生は離島甲子園で優勝、準優勝したりなど好成績を収めている。今後も離島甲子園に継続参加するのか伺いたい。	教育長	今年で4回目となりました全国離島中学校野球大会、3中学校の中学生が規範意識の向上を図り、短期間でチームワークを築き今回も準優勝の成果となりました。今後も子ども達が自信を持ち目標を持てるよう、今後とも参加するよう関係部署と調整を図って参ります。
饒平名 智弘	儀間、久米島保育園について	久米島町から儀間保育園や久米島保育園を民間に譲渡してから数年が経過しているが、町長はそれをどう評価しているか。	町長	久米島町行政改革大綱に基づき民営化を進めてきました、民営化した儀間保育園、なでしこ第二保育園ともそれぞれの運営方針に基づき、子供のための保育事業に取り組んでいるものと考えています。
山里 昌輝	福祉行政について	福祉施設整備計画の進捗状況を具体的に説明してもらいたい。	町長	現在計画しているのが、障害者の活動支援施設と社会福祉協議会の入居施設の整備を計画しています。町としては、久米島中学校と仲里中学校の統合に伴って久米島中学校跡を福祉施設として活用することで進めています。
棚原 哲也	農業の生産拡大及び流通課題の支援要請に対するの進行状況を伺いたい	久米島産紅芋は他の産地と比較して高品質で市場や量販店からの評価も高く、同年出荷と増量の要望があり、消費者に良品質の甘藷を供給し生産量の増加と農家所得の向上の為、次の早期整備の要望があるが年次の整備計画を伺いたい。 (1)甘藷が良品質のまま貯蔵できるような冷蔵庫。 (2)収穫が重労働となっている要因を、堀機等の持ち回り使用によって緩和できる為、機械の導入を検討してもらいたい。 (3)出荷時にフェリーの貨物積載場所の温度が高く甘藷の品質が劣化することから、フェリー積載用コンテナの導入。 (4)植え付け前の圃場の肥料等の同時注入機の導入。	町長	(1)甘藷用の冷蔵庫整備については、JAの集出荷場内に平成26年度予算で検討をしています。 (2)の掘機及び(4)の肥料等の同時注入器についてはH25年度補正予算で1件予定をしています。農家から要望があれば導入できるよう支援をしたいと考えています。 (3)については、輸送の実態と必要性について調査検討を行いたいと考えています。
棚原 哲也	島内の公園等の整備及び遊具等の安全点検について	(1)現在遊具が設置されている銭田森林公園、ふれあい公園、ダルマ山公園等の保全点検や遊具の安全点検及び破損個所の補修はなされているか。 (2)イーフビーチ公共駐車場の角に設置されている、旧NTTの公衆電話が設置されていた赤瓦の東屋が、長年の塩害等で支柱が劣化し崩落の可能性があるため、事故が起きる前に撤去する必要があると思うが、早急に対応する考えはないか伺いたい。 (3)タイ原池排水溝の側から宇根原（又はフルチリ）までのアスファルト舗装された農道が、土砂崩れや倒木等で通行不可能な状態で放置され、途中のタイ原池の湖畔には、登武那覇公園整備事業で整備した東屋も含めた小公園もあるが、長年放置された状況にある道路については宇根原、タイ原地区を縦断する道路として必要性が高く、再整備の必要があるが、公園については維持管理の面から必要ないと思うが、今後どう取り組んでいくか方針を伺いたい。	町長	(1)トイレ清掃班が定期的に点検し、修理・撤去について報告があります。修理・撤去につきましては職員及び環境美化作業班にて対応しております。 (2)調査し撤去します。 (3)タイ原池排水溝の側の道路につきましては、倒木等があり危険性があるということで封鎖しておりましたが今後、危険性がないか、調査のうえ県及び関係課と調整してまいります。
棚原 哲也	産業振興課は農林水産課、商工観光課に再分課したほうがいいのではないか	平成23年4月より、旧農林水産課と商工観光課が統合し発足した産業振興課について伺いたい。町の行政改革の一環として二課を統合したと思われるが一次産業である農林水産、二、三次産業である商工観光とは関連する部分もあると思うが、専門分野の相違点が多く、農林水産、商工観光の振興発展の為に再度分課し、専門分野に精通した課にした方がいいのではないか。	町長	組織機構改革の一環として、簡素で効率的な組織とすることや課の規模等を基本に関連する課の統合を行ってきましたが、その後の問題点や課題等を検証しながら、今後、組織機構改革が必要であれば取り組んで参りたいと思います。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
棚原 哲也	奥武島西海岸の砂洲の移動及びイービーチの砂の移動について県と連携して潮流の調査費の早期確保を	昨年9月での一般質問で奥武島西海岸及びイービーチの海岸の保全の問題を提起したところ、調査費には多額の費用がかかるが、次年度以降調査メニューがないか一括交付金でメニューがつけられるか議論するので強力に県に要請していくとの副町長の答弁であるが、調査費についての議論を継続して行っているか、又その目処付けはなされているか。	町長	一括交付金の特別枠で事業採択を検討してきましたが、事業化は困難であるとの結果となりました。今後、イー帯海岸のあり方について専門家の意見を聴きながら、砂浜保全等について検討したいと考えております。
棚原 哲也	高速船の導入について	高速船導入計画の進行状況はどの程度か伺いたい。	町長	高速船導入については「フェリーニューくめしま」の引退時期を目処に、これまで勉強会を実施してまいりました。確実な導入を図るためにも就航時期を明確にする必要があることから、事業者も加えた高速船導入検討会を年度内にも発足する予定で準備を進めています。
島袋 完英	文化協会・民俗芸能保存会への事務局職員の配置を	町長は25年度の施政方針で、初めて教育行政の中に文化行政の充実を掲げています。そして、会あるごとに文化の発信は大事だとコメントしております。両組織とも活動が年々充実し、活発になってきました。活動が活発になればなるほど事務局の業務が増えて、ボランティアではこなせない状況になっています。4回目を迎えた古典民謡大会、また新規の現代版組踊りも良いと思いますが、既存の文化活動、民俗芸能の保存、継承はもっと重要だと思います。そこで、4事業をまとめた事務局の職員を配置する考えはないか。	教育長 町長	久米島古典民謡大会は島内外から参加を募って実施される大会、現代版組踊りは子ども達を対象にした事業で、趣味・生涯学習・地域の伝統を発表する文化協会・民族芸能保存会の事業とは性質が異なりますので、これまで同様の形態で活動をお願いします。
島袋 完英	具志川村当時の下水道工事について	(1)字西銘989番地地区での下水道の繋ぎ口が敷地より高所になっており接続不可です。設計ミスなのか施工ミスなのか。 (2)住人は早めに接続したいと要望しています。改良工事を入れて接続をさせるべきだと思うが。	町長	(1)現地確認をしたところ、ご指摘のとおり宅地柵が宅地の浄化槽より高いため、接続不可となっています。原因については調査を行いましたが見つめることができませんでした。 (2)現在実施設計の見積をお願いしており、工事概要等が出来上がってきた後事業導入できるか調整していきたいと考えています。
島袋 完英	久米島版お見合い大作戦の設定について	TV番組で放映された、お見合い番組は大変好評のようでした。その後、巷に400万円もの予算があるんだしたら島内にももっと大勢の独身男女がいるのに島内でも設定してみてもとの意見がありますが。	町長	久米島の花嫁 お見合い大作戦のカップルの成立については今後の推移を見守る必要がありますが、広報効果の面では大成功だったと考えています。島内での実施については、これまで類似のイベントを実施してもなかなか人が集まらないのが実態です。簡単ではないと思いますが、関係者の機運が盛り上がりれば可能ではないかと考えています。
島袋 完英	具志川改善センターの改修後の運営実績は	(1)改修の費用はいくらか。 (2)冠婚・祝事の実績は。 (3)費用対効果についての判定は。	町長	(1)改修費用は、100,687,650円です。 (2)冠婚、祝事等の実績は、平成22年～25年度で20件です。 (3)施設の整備による「対費用効果」について数値化はできませんが、整備後は、結婚披露宴や生年祝い等を行うことのできる施設の提供ができる状態にあります。
平良 義徳	観光産業について	平成25年度の町長の施政方針の中で、観光産業の振興も取り上げられています。本年度の事業名(事業計画)を示して頂きたい。	町長	平成25年度一括交付金事業として久米島観光振興促進事業、久米島観光誘客促進事業、久米島観光ITプロモーション事業、ヤジャーガマ整備事業となっています。その他の事業として、観光振興事業、体験交流型観光商品開発販売促進事業、観光関連施設の管理運営事業などがあります。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
平良 義徳	「あじま一館」の運営について	平成19年に島の学校あじま一館のオープン以来、NPO法人が指定管理者として運営してきましたが、5年が経過し、計画終了となりました。体験型施設としての今後、どのような活用方法をしていくのか説明を求める。	町長	あじま一館の管理は、平成18年度からNPO法人が運営してきましたが、修学旅行の激減により、経営が苦しくなり平成23年度末で指定管理を辞退いたしました。平成24年度の8月からは観光協会が指定管理者となっています。今年度から民泊事業の導入等により、修学旅行の再誘致に取り組んでいますので、あじま一館は今後も修学旅行生を中心とした体験交流の拠点として活用してまいります。
崎村 正明	学力向上に向けて今後の取り組みは	全国学力テストで沖縄県は全国最下位であるが、久米島町の小中学校の成績は県内でどの位置にあるか、学力向上に向け今後の久米島町教育委員会の取り組みについて伺いたい。	教育長	全国学力・学習状況調査で、久米島町の学力は沖縄県平均以下・那覇地区平均以下となりますが、区市町村何番目かは把握できません。 学力向上に向けては、教職員の各種研修、小学校に支援を要する児童への支援員配置、漢字検定・英語検定の補助、小学校・中学生対象の塾を開設し補習授業等を行い学力向上に努めています。
崎村 正明	久米島高校へ進学させる取り組みは	人口減少が続く中で、沖縄本島の高校を志望する子供達が毎年多くいますが、どのような状況か過去10年間の推移と要因を伺いたい。	町長	久米島高校進学状況は別紙をご覧ください。沖縄本島の高校に進学する要因は、久米島高校に希望する学科がない、上を目指したスポーツ・学習をしたい等となっています。
喜久村 等	久米島空港内に自動現金支払機の設置について	利用者の要望の声が多数あるが、町として金融機関への要請はできないか。	町長	空港ターミナルビルと調整の上、関係金融機関へ要請したいと思います。
喜久村 等	那覇発の航空便の変更が多い	町民から苦情が出ているが、町として対応はどういうふうにとるか。	町長	航空便の安定的な運行については、これまで度々JTAやRACIに対して抗議や要請をしてまいりました。最近ではJTA220便那覇発17:20の遅延が多くなっています。その原因については天候不良や機材整備だということですが、公共交通機関として安定的な運行に務めるよう今後とも要請をしてまいります。
喜久村 等	防風林の植林と管理について	美崎地域一帯の防風林がほとんど枯れてしまっているが、植林する考えはないか。	町長	再度事業導入できないか沖縄県南部林業事務所へ要望します。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	<p>最近、日本の国政情勢は特定秘密保護法や集団的自衛権問題で、いよいよ大政翼賛会で戦前回帰への足音が聞える。国の専守防衛までは容認できるとしても、いよいよ戦争準備かとの感性にある。島の人達20名の虐殺事件も忘れていない。鳥島射爆撃場もこれから演習は多くなるだろう。町長は、今年9月の定例会で次のとおり答弁している。</p> <p>(1)劣化ウランは、低濃度の放射性物質であっても、放射性物質に変りはないので、町民の健康状態に少しでも異常値が認められれば、国に要請したい。</p> <p>(2)未回収の一部は、砂の中に潜っているものもあると思われるので、引き続き環境調査をしたい。</p> <p>私は次の事を伺いたい。</p> <p>(1)について、本町の幼児等のガン発症を把握しているか。又、福島県の自治体では、児童の遺伝子診断を実施している地域もあるが、本町では考えていないのか。</p> <p>(2)について、ホットスポットが考えられること。又、米軍の爆弾投下によって、劣化ウラン弾の誘爆も推測される。そこで、劣化ウラン弾を封じ込めるために町内のテトラポットを、鳥島の海底から積み上げ、後は島の復元は考えていないか。</p>	町長	<p>(1)につきましては、久米島町の小児慢性特定疾患のうち小児がん(悪性新生物)の発症状況は町独自のデータはありませんが、南部福祉保健所によりますと平成24年度は5件の報告があります。</p> <p>また、児童の遺伝子診断につきましては、現在、沖縄県で実施している市町村はないと報告を受けています。久米島町においても、現時点では実施する計画はありません。</p> <p>(2)につきましては、現時点ではテトラポットの海底からの積み上げは考えていません。</p> <p>また、防衛局は毎年島の現況調査等を行い、年1回町に報告することになっています。その中で、島の現状復元等について要請はしていきたいと思っております。</p>
宇江原 総清	コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽について(河川等も含む)	<p>海岸のコンクリート護岸は、台風時に潮を吹き上げ、塩害を発生させ、山や防潮林及び農作物等に甚大な被害をもたらしている。また、一方では、土中から水とともにミネラル(鉄、亜鉛、カルシウム、マンガン等)や腐植土が海へ運ばれるのを阻害している。ミネラルや腐植土は、海の藻場や干潟などを育成、保全する役割がある。事例では、2009年7月の10チャンネルで、水中のプロ、渋谷正信氏が、志摩の海(三重県)復活作戦で次の事を言った。コンクリート護岸によって遮断された、陸と海に異変が起きた。陸地から海に運ばれるミネラルや腐植土、腐葉土が海へ流れなくなり、ウニやアワビ等がいなくなった。水中工事で、鉄分や腐植土を与えたら海藻が増え、ウニ、アワビ等が再生したとの事。この事から砂浜のない厳しい海岸は、傾斜の石積みに盛土し、築山を造る。石の目地には、クサトベラ、モンパノキ、ハマシタン等を植栽する。ミネラルや腐植土はもちろんオカガニやオカヤドカリの棲息場所となる。町長はこの工法をどう考えるのか伺う。</p>	町長	<p>海の藻場の形成には陸地からの栄養分の供給が必要であるといわれており、石積護岸は護岸築堤前の自然に近い形で栄養分の供給を行なうため、また、オカガニ、オカヤドカリ等の生息、海と陸地の往来のためにも石積護岸は有効な工法あると考えます。築山、植栽についてもオカヤドカリ等の生息、防潮の観点から有効な工法であると考えます。</p>
宇江原 総清	仲里漁港の一字の撤去、シールガチの改修について	<p>仲里漁港入口は少しの悪い天候で、船が出られない危いと漁師は嘆いている。一字堤防が原因という。また、御願崎のシールガチも崩れている部分がある。このことから、塩害をも発生させている一字を撤去し、そのコンクリートの魂を崩壊がはじまっているシールガチに沈め、崩壊防止にしたら良いと思うがどうか、伺う。</p>	町長	<p>仲里漁港は県管理漁港であるため、町で判断することはできませんが、漁協の意向を把握し、県と調整をしたいと考えています。</p>